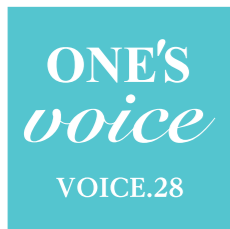


アーツアカデミー公開ゼミ
コンサートホールの音響



インタビュー

東京芸術劇場
芸術監督 野田秀樹



「書くのが楽しい」新作は、 古の日本のQ&S

開幕前はキャストに驚き、幕が開くとその内容に衝撃が広がる―。

それが従来のNODA・MAPならば、次回作はさらに大きな驚きが!! 新作『Q』に込められた企みとは?

「やってやるぞ」と奮い立ったオファー

1999年、同一戯曲を同時期に野田秀樹と競作した蜷川幸雄は、その理由について「近頃は演劇がニュースに取り上げられることが少ない」と言った。そこには、演劇が幅広い層の関心を呼ぶことを意識していなければという開かれた姿勢と、演劇とは本来、事件性のあるものだということのこだわりがあったのだと思う。実際、合同で開かれたその会見には大変な数のメディアが詰めかけたのだが、氏がもしまだ存命で、NODA・MAP 2年半ぶりの新作『Q』

の詳細を知ったら、大いに悔しがったのではないかな。

なんと『Q』は、映画『ボヘミアン・ラブソディ』が世界的にヒットしたイギリスのロックバンド、クイーンの代表的なアルバム『オペラ座の夜』を舞台化してほしいというクイーン・サイドのオファーが野田に届いてスタートしたのだ。

「なにより『ボヘミアン・ラブソディ』そのものが、若い時に出会った“なんだコレ!”という衝撃的な曲でしたから、クイーン側からの話を聞いた時は、あまり前例のないことなので、先方がどこまで本気なのかという勘ぐり(笑)と、果たしてどういうふうによればいいのかという手探り感と、やって

やるぞという挑戦の気持ちが一度に湧き上がりました」

実は、クイーン・サイドは何年も前から『オペラ座の夜』の全曲を使用したなにがしかの舞台の企画を練っていた。そして、自分たちをいち早く発見し、受け入れてくれた日本で、それが形になることを望んだという。

「まず、聴き込むのと同時に、歌詞を徹底的に読み込みました。全曲使用してほしいという条件を聞いて少しひるんだんですけど、改めて1曲ずつじっくりと聴いてみると、緩い風を運んでくるものもあれば、凛とした刀のような曲もあって、全部の色が違う。と同時に、全体としてひとつのドラマが浮かぶような感覚もあって、まさにシアトリカル。芝居にできないかというオファーの意味がわかりました。しかも謎が深い。たとえば、なぜ『ボヘミアン・ラブソディ』で、ガリレオの名前を連呼するのか。何の気にもとめず聞いていたものが、自分なりに解釈し調べていくと、不可解な部分を含め、追いかけていってよかった。他の曲からもたくさんのインスピレーションをもらいましたね」

いつかやりたいと思っていたアイデア

そのインスピレーションと、野田がかねてから温めていたもうひとつのアイデアが結びついた。そのアイデアとは、シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』の後日譚。

「とりわけ『Love of my life』という曲を聴いた時に、ああ、これは一生をかけた愛についての歌で、いつか書きたいと思っていた『ロミジュリ』の後日譚の世界に繋がると思ったんです。僕は『ロミジュリ』は、これ以上ない悲恋のひとつの結晶だと思う。シェイクスピアの初期作品であり、具体的なせりふは彼だけけれども、原型とされる戯曲があるので、もともと“いじられた戯曲”だと思っているんです。イギリスでも“『リア王』をいじるのは許されないけど『ロミジュリ』は大丈夫」という人は多いんですよ(笑)」

野田流後日譚の舞台に選ばれたのは、12世紀の日本。そしてそこにクイーンの『オペラ座の夜』に収録されている12曲がちりばめられる――。

個性豊かで新鮮なキャスト陣

さて、『ロミオとジュリエット』の後日譚と書いたが、単純なそれではない。若かりし頃とその後、つまり2組のロミオとジュリエットが登場するのだ。若い頃のふたりを演じるのは、若手俳優の中でも抜きん出た演技力が高く評価されている志尊淳と広瀬すず。広瀬は、この作品が初舞台となる。そして、その後のロミオとジュリエットを演じるのは、野田が深く信頼する松たか子と、NODA・MAPに待望の初参加が実現する上川隆也。さらに、この4人を取り巻く俳優陣には、満を持してのNODA・MAP初参戦となる橋本さとし、竹中直人、伊勢佳世という実力、存在感ともに評価される面々が揃う。加えて『パイパー』以来、10年ぶりの出演となる怪優・小松和重や、『キル』や『TABOO』などNODA・MAPの初期作品を支え、今なお鮮やかな印象を残す羽野晶紀が21年ぶりに野田作品に復帰するのうれしい。

「これだけ初参加の人が多い座組は久々ですね。彼らとは、もう何度もワークショップを積み重ねてますが、みんなモチベーションが高くて、こちら

も知らずにハイになってます」

それもあるってか、「今、書いていてとても楽しい。“仕事”という感覚にならないように書けることは理想です。ま、今のところの話です。産みの苦しみはこれからでしょう。待ってろよ! 産みの苦しみってところかな」と快活に言う。

「何しろ新作は『足跡姫』(17年1月)以来ですからね。クイーン・サイドからOKが出て、ずっと温めていた『ロミジュリ』後日譚が展開できることになって、自分としては早く書きたくて仕方なかったんです。でもその間に、『One Green Bottle』の海外ツアー、歌舞伎版と海外公演の『眞作 桜の森の満開の下』がありましたから、なかなか体も頭も容量が空かなくて」

その口ぶりからは『Q』に留まらない創作意欲が感じ取れる。野田よりも年下の劇作家でも新作に苦勞するのはザラなのに。

「でも僕も、少しずつ(新作を書く)間が空いてきていますよ。それは年齢のせいもあるし、年々余計なことで忙しくなっている。今年から「東京演劇道場」も始めちゃったし(笑)。若い時に“年取ってから良いもの書いたヤツなんていない”なんて暴言を吐いてたから、自業自得です。でも、ただ書けば良いってものじゃないという思いはあって… 慎重にやってはいます。井上ひさしさんという希望の巨星がいますしね。井上さんは最後まで(若い頃と)エネルギーの変わらないものを書き続けましたから。演出ではもちろん蜷川さんが希望の巨星です。とすれば、80歳ぐらいでもエネルギーに仕事ができるってことですよ。井上さんと蜷川さん両方のエネルギーって、どれだけ欲深いのかって話ですよ」

筆の乗りの良さを想像させる前向きな言葉が続いた。おそらく『Q』には、このインタビューには出さなかった企みがまだ潜んでいるに違いない。期待を募らせ、大作を待とう。

取材・文：徳永京子

野田秀樹 HIDEKI NODA

劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授。92年に「劇団 夢の遊戯社」を解散後、ロンドンへ留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。以来『キル』『赤鬼』『パンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『逆鱗』『足跡姫』『One Green Bottle』など話題作を次々と発表。モーツァルト歌劇『フィガロの結婚-庭師は見た!-』等、オペラの演出も手がけるほか、海外の俳優やスタッフとの共同制作による英国版『One Green Bottle』を東京、韓国、ロンドン、ルーマニアで上演し大きな反響を得る。演劇界の旗手として枠を超えた精力的な創作活動を行う。2015年よりブラジル、東北、東京、京都、などで、国内外の多種多様な表現者達と新たな幻想的な表現を創出する文化サーカス「東京キャラバン」を実施。2018年NODA・MAP第22回公演『眞作 桜の森の満開の下』を東京、大阪、北九州、パリで上演し大きな反響を得る。2019年4月より松竹シネマ歌舞伎『野田版 桜の森の満開の下』を全国で上映。10月には、2年半ぶりとなる新作『Q:A Night At The Kabuki』を東京、大阪、北九州で上演予定。世界を駆け巡り、意欲的に活動を展開している。

NODA・MAP 第23回公演

「Q:A Night At The Kabuki」

Inspired by A Night At The Opera

作・演出:野田秀樹 音楽:QUEEN

10月8日(火)~15日(火)／11月9日(土)~12月11日(水)
プレイハウス

ほか大阪、北九州 公演あり

出演:松たか子 上川隆也 広瀬すず 志尊淳

橋本さとし 小松和重 伊勢佳世 羽野晶紀 野田秀樹 竹中直人

チケット発売:9月7日(土) 【詳細はHPへ】 www.nodamap.com/



松たか子



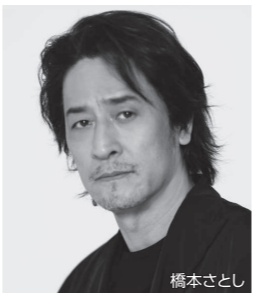
上川隆也



広瀬すず



志尊淳



橋本さとし



小松和重



伊勢佳世



羽野晶紀



野田秀樹



竹中直人



ボンクリ・フェス2019 “Born Creative” Festival 2019

アーティスティック・ディレクター：藤倉大(作曲家)

今年も開催! 世界中の「新しい音」が 聴ける1dayフェス!

注目を集める現代作曲家・藤倉大をアーティスティック・ディレクターに迎え、
今年で3回目の開催となる新時代の音楽フェスティバル!



©Seiji Okumiya

“Born Creative Festival” 通称『ボンクリ』が近づいてきた。略称じゃなく
て通称? そう、もう三回目ともなれば日本中どこでも『ボンクリ』の名称



アドリウムコンサート(劇川伸陽)
「ボンクリ・フェス2017」より

©2 FaithCompany

で通っているの通称に
格上げされたのである。
で、いつから? そう言えば
一回目からだった。二年
前に始まったフェスティ
バルだが、開催準備中の
会議に出席していた藤倉
大と関係者が当たり前の

ように「ボンクリ、ボンクリ」と呼び交わしているのを聞いていて「おそらく
英語なんだろう」「可愛らしい語感だからきっと新製品のスイーツ? でも
コンサートの打ち合わせだから」とひとり取り残され感全開の思いをし
たものだった。それが「人は生まれつきクリエイティブである」という藤
倉が掲げたきわめて前向きかつ全方位的な素晴らしいコンセプトの意
味と知り、会議中であるので、皆に見えないように一人膝を打って得心
したのを昨日のこのように鮮明に覚えている。その上、そのプログラ
ムの中の主要な曲目の演奏を我が誇り高き手兵“アンサンブル・ノマド”
に任せて頂けるとあって、興奮の目盛りはいやが上にもあがる一方で
あった。

ボンクリ・フェス2019 “Born Creative” Festival 2019 9月28日(土) アーティスティック・ディレクター：藤倉大

デイトタイム・プログラム 11:00~18:00 館内各所

詳細はHPへ

□誰でも楽しめる!

無料プログラム

- ◆アトリウム・コンサート
出演：東野珠実(笙) ほか
- ◆「電子音楽の部屋」
監修：檜垣智也



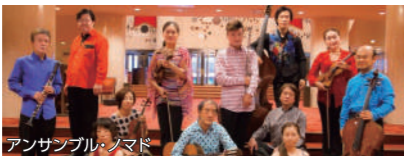
Photo by Kayoko Asai

©Reiko Kawasaki

□スペシャル・コンサートのチケットで楽しめる! ワークショップ・コンサート

※要スペシャル・コンサートの半券、事前申込制。

- ◆「ノマドの部屋」 演奏：アンサンブル・ノマド
- ◆「プンクトの部屋」 演奏：ヤン・バング エリック・オノレ アイヴィン・オールセット ニルス・ペッター・モルヴェル
- ◆「箏の部屋」 演奏：八木美知依
- ◆「電子音楽工作の部屋」 講師：ジルベール・ノウノ (ボンビドゥー・センター<イルカム>研究員)
- ◆「トーンマイスター石丸の部屋」 講師：トーンマイスター石丸



アンサンブル・ノマド

©Maki Takagi



ヤン・バング



エリック・オノレ

Photo Natalia Kutsepova



アイヴィン・オールセット

©Hikaru, it



ニルス・ペッター・モルヴェル

photo_PederOttoByevik



ジルベール・ノウノ

「人は生まれつきクリエイティブである」と藤倉が指している“人”とは
勿論世の中のすべての人の意味であるのは言うまでもないのだが、特に
コンサートにおいてはそこに集うすべての人間を指す。作品の作者である
作曲家は勿論、演奏家、スタッフは当然のことだが、絶対に欠かせないの
が聴衆であるあなた自身である、と言っているのである。聴衆を前提と
しないコンサートなど存在しないだけでなく、聴衆によって音楽が完結
するからだ。いくら作曲家が楽譜を完成させても演奏されなければ音楽
とは言えず、いくら演奏家が確信をもって演奏しても聴かれなければ音
楽とはならない。何故なら聴かれるためにあるのが音楽だから。その音
楽も一つの聴き方しか許さないのであればわざわざ演奏する必要も聴
きに来る必要もなく、聴衆の積極的な創造性によって多くのファンタジー
が生まれ、はじめてかけがえの無い音楽となる。クラシック音楽の本質が
本質的に作曲家、演奏家、聴衆による《三人婚》であり、その三者全員に果た
すべき役割がある、と言ったのはポール・グリフィス(『文化のなかの西洋
音楽史』音楽之友社)であったが、『ボンクリ』では有能なスタッフ達の存在
がこのフェスティバルの個性を支えていることを忘れてはならない。昨年の
スペシャル・コンサートで演奏したアルヴィン・ルシエ「Sizzles」という曲は、客
席から仰ぎ見る、ステージ中央の高みに聖域のごとく聳える、東京芸術劇場
のシンボルに等しい巨大なパイプオルガンの重低音を鳴らし、ステージ上
に並んだ大小の太鼓の上に撒かれた何種類もの豆類や生米などを震わせ
るという作品を演奏した。まず専門のオルガン奏者以外オルガンに触
れることは勿論のこと、聖域にひとしい演奏台に立ち入ることなど許され
ないはずだが、この時は“アンサンブル・ノマド”のピアニスト中川賢一がオル
ガンを演奏した。直前までのスタッフ全員の涙ぐましい努力の結果、当日
晴れて、ステージ上に配置された楽器上の豆類や生米が、まるで命が吹き
込まれたかのようにひとりでに震え始めたのだ。『ボンクリ』は本番前にす
でに始まっていることを如実にあらわすエピソードのひとつである。

ところで、『ボンクリ』ではどんな音楽が演奏され聴けるのだろうか? 全
体のラインナップがアーティスティック・ディレクター藤倉大によって選
ばれるのだが、チラシには“世界中の「新しい音」が聴ける”と謳っている
ように、名付けることが出来ないほどに新鮮この上ない旬の音楽である。
予備知識の必要のない開かれたジャンルと言い換えることもできる。音楽
は作品であると同時に先ず音であり、過去の作曲家も音そのものの面白
さの追求が原点となってきたはず。ドビュッシーが初めて四度の和音を鳴
らした時、いったいどれ程驚いたことだろう! そのような音楽の創造の現
場に遠慮なく立ち会えるのが『ボンクリ』である。人を動かす動機として
もっとも強いのは驚くことではないだろうか。たくさん驚きにきてほしい。

スペシャル・コンサート 14:00開演 コンサートホール

詳細はP18へ

出演：アンサンブル・ノマド(指揮：佐藤紀雄) 福川伸陽(ホルン) 八木美知依(箏) 本條秀慈郎(三味線) ヤン・バング(エレクトロニクス) エリック・オノレ(エレクトロニクス)
アイヴィン・オールセット(ギター) ニルス・ペッター・モルヴェル(トランペット) 大友良英 萩原麻未(ピアノ) 藤倉大(エレクトロニクス) サウンドデザイン：永見竜生[Nagie]
曲目：モートン・フェルドマン／サムシング・ワイルド・イン・ザ・シティーマリー・アンのテーマ(ホルン、チェレスタ、弦楽四重奏のための)
"Morton Feldman Collection, Paul Sacher Foundation, Basel"

挟間美帆(はさま みほ)

八木美知依／通り過ぎた道

「通り過ぎた道」PUNKTライブ・リミックス

テリー・ライリー／In C

坂本龍一／honj I~III (日本初演)

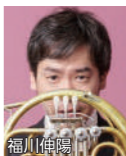
大友良英／新作(世界初演)

藤倉大／春と修羅(映画「蜂蜜と遠雷」より)

藤倉大／ホルン協奏曲第2番(アンサンブル全編版世界初演)



佐藤紀雄



福川伸陽



八木美知依

Photo by Abiane Laure



本條秀慈郎

©佐藤雄



大友良英

©佐藤雄



萩原麻未

©Marco Borggreve

大人ボンクリ 19:00開演 コンサートホール

入退場自由。参加アーティスト選曲による“出演者なしの電子音楽コンサート”。
※スペシャル・コンサートのチケット半券で入場可。

ボンクリ・フェス2019 特設サイト
borncreativefestival.com



電子音楽の部屋

©Hikaru, it



トーンマイスター石丸の部屋

©Hikaru, it



ノマドの部屋(アンサンブル・ノマド)

「ボンクリ・フェス2018」より

©Hikaru, it

『ボンクリ』の大きな特徴の一つは一日限りのフェスティバルということ。
今年のプログラムもメインとなるスペシャル・コンサート、小さな部屋で
行う様々なプログラム、公共スペースで行うコンサートなど、全部で9つ
のプログラムを一日で聴ける、という大きな特徴があるが、近くからご
来場する方は勿論のこと、遠方から訪れる人には涙がでるほど有り難い
ことではないだろうか。タイムスケジュールは綿密に組まれているため、
体力次第では全てのプログラムを制覇することも可能。話は少しそれるが、
工期が大幅に短縮され2026年に完成をみると言われているバルセロナ
のサグラダ・ファミリアは無数の大小の部屋に様々な鐘が設えられ、教会
全体が大きなカリヨンとなって音楽を奏で、バルセロナの街をその音楽
で満たす、と聞いたことがあるが、『ボンクリ』の日には、劇場前広場から見
上げる東京芸術劇場が、音楽にあふれる音の大伽藍となって躍動している
ように見える。この大きな劇場の中を、面白い音を巡って多くの人達が四
方八方に移動している様子を想像したら、参加しないでいられる人など
いないはず。

今年も見逃すことが出来ない企画のオンパレードで、例年のごとく、
私はまた演奏者としてリハーサル、本番に参加するが、その合間を縫って
出来るだけ多くの部屋を覗いてたくさん驚きたいと、今から意欲満々の
構えである。

文：佐藤紀雄(指揮者・ギタリスト、アンサンブル・ノマド代表)



©Hikaru, 〇

東京芸術劇場コンサートオペラ vol.7

ドビュッシー／『放蕩息子』& ビゼー／歌劇『ジャミレ』

*演奏会形式(日本語字幕付・原語上演)

新時代の到来を告げる、 二つの「明けの明星」

革新的な名作の前には

助走段階に等しい意欲作が存在する。

近代の作曲家ドビュッシーとビゼーの

「隠しおおせぬ輝き」にこの秋は要注目だ！

来る10月、東京芸術劇場が誇る人気のシリーズ「コンサートオペラ」が、日本ではなかなか演奏機会のない舞台作品、ドビュッシーの《放蕩息子》とビゼーの《ジャミレ》を演奏会形式で上演する。この2作はともに、「音楽史の明けの明星」として、大作曲家たちの輝かしい未来をそれぞれ予見するもの。実演に接したなら、「やがて来る新時代」の勢いが確かに聴きとれることだろう。

紫水晶の輝きを持つ「聖書由来のカンタータ」

歌の世界において、印象派の巨人ドビュッシーといえば、歌劇《ペレアスとメリザンド》(1902)がプラチナの光沢を放っているが、楽壇の登竜門たるローマ賞で第1位を獲得したカンタータ《放蕩息子》(1884)も、聖者が好む紫水晶のように、清々しい燦めきを宿す注目作であり続けている。物語は、古代の中東を舞台に、出奔した息子アザエルの帰りを待つ母リアと父シメオンの心模様を描き、最後には親子三人が再会して喜びあうというもの。コンクールの課題曲なので20分ほどの小品だが、そよぐ風のように柔らかな管弦楽が砂漠の果てしない地平線を思わせて、想像以上に広がりのある一作になっている。本作の聴きどころとしてまず挙げたいのは、始まってすぐのリアのアリア〈来る年も来る年もむなしく〉。息子の帰還を信じる母親が悲痛な胸の内を吐露する一曲だけに、ドビュッシーの音作りではメロディが最もはっきりしており、コンサートで歌われることも多い名旋律である。

さて、10月のステージでこの母親役を歌うのは、これまで娘役のイメージが強かった国際派ソプラノ、浜田理恵。「でも、フランスではもう歌っているんですよ!」と温かい声音で話す彼女は、名指揮者ミシェル・ブラッソンのもとでこの役を既に2度務めているとのこと。「おかげさまでディクション(発語法)の大切さ



2017年度 コンサートオペラvol.5 ビゼー／歌劇『真珠とリ』

©Hikaru, 〇

が身に付きました」と控えめな口調で語っていたが、今回指揮台に立つ佐藤正浩も、同じくブラッソンの薫陶を長年受ける気鋭のマエストロである。彼の手兵のオーケストラ、ザ・オペラ・バンドも、新しいコンサートマスターを迎えていっそう充実した演奏を聴かせるはず。実力派の歌声と共に大いに期待してみたい。

想像力が生み出したオリエンタルな音の画像

続いては、異国情緒の第一人者ビゼーについて。スペインを舞台とする傑作《カルメン》(1875)は、今や世界一有名なオペラとして人口に膾炙しているが、その直前に作られた《ジャミレ》(1872)は、エジプトの移り気な王子アルーンに恋した女奴隷ジャミレが、相手にひたすら尽くし愛を捧げることで、男心を見事に射止めてしまうという喜劇調の一作。王子の従者スプレンドリアーノが狂言回しを務め、合唱団と共に舞台をにぎわせる。

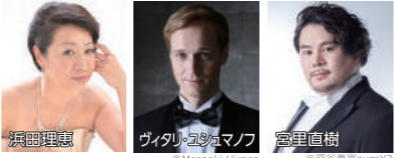
今回ジャミレを歌うのは、オペラ界の第一線で活躍するメゾソプラノ、鳥木弥生。深い響きの声音を有し、宝塚の男役を思わせるきりとした容貌の持ち主だが、実は彼女もこのジャミレの役を既に演じているとのこと。「フランスの歌唱指導の第一人者、ジャニーヌ・レイス先生に教わって、クレルモン＝フェランで舞台に立ちました。ジャミレって、解放してあげると言われたのに、逆に『貴男の奴隷でいたいのよ』と言って愛の勝利を得る女性でしょう。なかなかそんな人いないと思いますが(笑)、歌うのも2度目ですから、心理描写をより深めたいですね!」とはきはきと語っていた。

《ジャミレ》といえば、《カルメン》をも上回る「エキゾチックな音の画像」が満載のオペラである。すっ呆けた味わいの序曲から蠱惑的で涼やかな女声合唱へと続く冒頭部、躍動感に満ちる中間部の男声コーラスなど、まさしく絶品と思う。この機を逃さず、ビゼーのイマジネーション豊かな旋律美にたっぷり浸ってみてほしい。

文:岸純信(オペラ研究家)

10月26日(土) 14:00開演 コンサートホール 詳細はHPへ
指揮:佐藤正浩 管弦楽:ザ・オペラ・バンド コーラス:国立音楽大学合唱団

■ドビュッシー／『放蕩息子』
リア:浜田理恵
シメオン:ヴィタリ・コシュマノフ
アザエル:宮里直樹



■ビゼー／歌劇『ジャミレ』
ジャミレ:鳥木弥生
アルーン:樋口達哉
スプレンドリアーノ:岡昭宏

東京芸術劇場オルガン講座 第78回 夏休み・特別編・ 芸劇のオルガンを たっぷり楽しもう!

夏休みは親子で楽しむ パイプオルガン

東京芸術劇場コンサートホールには、世界に誇る素晴らしいパイプオルガンがあります。夏休みは親子でたっぷりオルガンの響きを味わい、そして楽器について楽しく学びましょう!「パイプオルガン講座 2019 夏休み・特別編」は、親子で参加できる豪華なオルガンコンサートと、こうさくコーナーの2本立て! -コンサート-は3歳以上から入場でき、-こうさく-は小学校4年生以上が対象です。

オルガン演奏前の「プレ・コンサート」には、芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミーの金管五重奏が登場。トランペットやホルンなどの楽器紹介もあるのでぜひご注目。

今年のオルガンの演奏者は、山口綾規さん。J.S.バッハの名曲「主よ、人の望みの喜びよ」や、オルガンと金管五重奏による迫力のサウンドでジグー作

8月1日(木) 13:00開演 コンサートホール -コンサート- 親子で楽しめるパイプオルガン・コンサート *プレ・コンサート 12:30~12:50 詳細はP15へ
14:00開講 コンサートホール -こうさく- 夏休み!紙工作で紙パイプを作ろう!

NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇

構成・作編曲:挟間美帆

クラシックに 演奏されるべきジャズの 過去、現在、未来

もともとクラシックを学び、その後、ジャズへ向かいジャズ作曲家になった挟間美帆は、ジャズとクラシックの接点を探り続けてきた。今やその音楽は現代ジャズ・アンサンブルの粋にとどまらずジャンルを超えた彼女だけのオリジナルなものになり、近年はNYのジャズ・アンサンブルのキーパーソンとしてその評価も定着し、ヨーロッパの名門ビッグバンドからのオファーも絶えない彼女だが、その根底にはクラシックがある。

そんな彼女はこれまでのインタビューの中でクラウス・オガーマンに代表されるジャズと管弦楽の境界線上にいた作編曲家に幾度となく言及してきたが、その延長で「バーンスタインとガーシュウィンで終わりじゃなくてマリア・シュナイダーみたいな人の作品もクラシックの人たちに演奏されるようになって欲しいし、されるべきだと思う」とも語ってきた。



©Hikaru, 〇

曲「大合唱の応答」もお楽しみいただきます。また当日は、ぜひ何か楽器を持ってきたください。リコーダーや鍵盤ハーモニカなど、身近な楽器でも大丈夫。みんなでミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』の「ドレミのうた」を合奏しましょう。楽器がなくても歌で元気に参加してくださいね。

-こうさく-では、オルガンのパイプのように、本当に音が鳴る紙パイプを作ります。夏休みの自由研究にもぴったり。作ってみると、楽器がどんな仕組みなのかよくわかります。手作りしたパイプを使って、ステージ上で小さなオルガンと一緒に演奏体験も。暑い夏の1日を、涼しいホール内のオルガンとともに楽しく過ごしましょう!

文:飯田有抄(クラシック音楽ファシリテーター)

挟間美帆はずっと前から、『NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇』のような機会を待っていたのだ。

その特別なステージのために挟間が選んだのがシャイ・マエストロだ。今やNYに欠かせない世界最高峰のピアニストとなり、名門ECMからリーダー作をリリースするシャイは、エレクトリックミュージックからクラシック、現代音楽、イスラエルの民族音楽まであらゆるものが溶け込んだジャズを弾きこなす。

ジャズと管弦楽の歴史をリスペクトしつつ、現在、そして、その先の未来を示すようなこの2人にしか表現できないステージになるはずだ。

文:柳楽光隆(ジャズ評論家)

8月30日(金) 19:00開演
コンサートホール
*18:40より挟間美帆によるプレトークあり

構成・作編曲:挟間美帆
指揮:原田慶太楼
ピアノ:シャイ・マエストロ
管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団



©Hiroyuki Seo

©Gabriel Baharia

トーキョー・メット・サラダ・ミュージック・フェスティバル2019

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2019 サラダ音楽祭



新企画にも注目のサラダ音楽祭

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化芸術イベントも盛り上がりを見せる中、今年も「サラダ音楽祭」がパワーアップして開催される。

2019年は日数・場所・プログラムを拡大！

「歌う！聴く！踊る！」=Sing and Listen and Dance!!(頭文字SaLaD=サラダ)をテーマとする「サラダ音楽祭」が、昨年につづいて今年もバージョンアップして開催される。メインプログラムの期間は9月14、15、16日の3日間に拡大！東京都交響楽団が登場するコンサートホールをメイン会場とし、今年はシアターイースト、シアターウエストでも新企画がスタート。昨年大人気だった多彩なワークショップも、リハーサルルームなどで3日間とも開催される。さらに池袋のショッピングエリアや、多くの人が集う駅周辺のスポットもミニコンサート会場に様変わり！都響メンバーによる室内楽や、新国立劇場合唱団メンバーによる声楽アンサンブル、芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミーメンバーによる楽しく本格的なパフォーマンスが街中で繰り広げられる。ワクワク、ドキドキ、だれもが音楽の楽しさを体感じ、表現できる音楽祭なのだ。

多彩なコンサートやワークショップ

音楽祭のメインとなるオーケストラのコンサートは2種類。ひとつは「赤ちゃんOK! 歌ってOK! 踊ってOK!」とOKぶくしのコンサート「OK! オーケストラ」だ。



0歳から参加できるこのコンサートでは、クラシックの名曲のほか、ディズニーやスタジオジブリの楽しい曲もプログラミング。指揮者体験で体を動かし、合唱コーナーで元気に声を出そう。赤ちゃんからご年配の方まで、

<メインプログラム>

- **OK!オーケストラ 赤ちゃんOK!歌ってOK!踊ってOK!** 詳細はP17へ
9月14日(土) 11:00開演・15:00開演 コンサートホール
- **ベイビーオペラ『ムルメリ』** 詳細はP18へ
9月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝) シアターイースト
- **楽器体験や歌・ダンスのワークショップなど／会場周辺でのさまざまなミニコンサート** 詳細はHPへ

<サラダ・スペシャルコンサート>

- **ドラクエ・シンフォニックコンサート in SaLaD** 詳細はP17へ
9月19日(木) 19:00開演 コンサートホール

大野和士の指揮する都響の本格的なサウンドを体いっばいに感じてほしい。

もうひとつは、その名も「音楽祭メインコンサート」。今年はシェイクスピアの名作を題材にした劇的交響曲《ロメオとジュリエット》がメイン・メニュー。大編成のオーケストラと、バレエや歌で華やかに繰り広げられる迫力のパフォーマンスを、たっぷりと楽しんでいただきたい。

コンサートホールでは、東京芸術劇場が世界に誇るパイプオルガンのコンサートも開催。この公演には、芸劇を拠点とし、視覚や聴覚にハンディキャップを抱えた子どもたちを中心メンバーとする「東京ホワイトハンドコーラス」も出演。生き生きとした音楽表現で日頃の成果を披露する。

シアターイーストでは、スイスのバーゼル歌劇場からやってくる「ベイビーオペラ『ムルメリ』」を上演。自然の音、人間の声、歌と動きを通じ、0歳から満2歳未満までの子どもたちが特別な音体験を味わう。

昨年、長蛇の列で大人気となったさまざまなワークショップ。今年も思い切り体を動かすダンスや、発声の基礎から学ぶ歌、憧れのオーケストラの楽器体験、自分だけのマイ楽器製作、子どものための作曲教室、AIを駆使した指揮体験でバーチャルな都響と共演できるステージなどなど、子どもも大人も夢中になってしまうコンテンツがそろそろ。

なお、3日間のメインプログラムの後も、「サラダ・スペシャルコンサート」と題して、9月19日には都響がゲーム音楽とコラボレーションする「ドラクエ・シンフォニックコンサート in SaLaD」を開催。作曲家すぎやまこういちが指揮者として登場する。10月27日には日比谷公園大音楽堂(日比谷野音)での無料コンサートも企画されている。

来たる2020年に向けて、文化芸術イベントもますます盛り上がりを見せている。東京が発信する音楽イベントを多いに楽しもう！

文：飯田有抄(クラシック音楽ファシリテーター)

- **音楽祭メインコンサート《ロメオとジュリエット》** 詳細はP17へ
9月16日(月・祝) 14:00開演 コンサートホール
- **オルガンでLet's SaLaD!** 詳細はP17へ
9月15日(日) 14:00開演 コンサートホール

- **SaLaD野外コンサート(仮称)** 詳細はHPへ
10月27日(日) 日比谷公園大音楽堂

サラダ音楽祭公式サイト
salad-music-fes.com

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2019

9月29日(日)・10月5日(土)・31日(木) コンサートホール



9月29日(日) 14:00開演 詳細はHPへ
東京吹奏楽団
第66回定期演奏会～Festival～
指揮：小林恵子
曲目：ドビュッシー／『夜想曲』より 祭り ほか
【お問合せ】東京吹奏楽団 03-5937-5205

10月5日(土) 14:00開演 詳細はHPへ
東京佼成ウインドオーケストラ 第145回定期演奏会
指揮：大井剛史
曲目：高昌帥／吹奏楽のための協奏曲 ほか
【お問合せ】東京佼成ウインドオーケストラ チケットサービス 0120-692-556

10月31日(木) 19:00開演 詳細はHPへ
ブラック・ダイク・バンド
指揮：ニコラス・チャイルズ
曲目：ピーター・グレイナム／
シャイン・アズ・ザ・ライト ほか
【お問合せ】ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212

秋は池袋で吹奏楽を楽しもう!プラスウィーク今年も開催!

国内外の吹奏楽団、プラスバンドの演奏を続けて楽しめる、東京芸術劇場の秋の風物詩「プラスウィーク」。今年は日本トップレベルの演奏を誇るプラスウィーク常連楽団、東京吹奏楽団と東京佼成ウインドオーケストラに加え、イギリスの名門バンド、ブラック・ダイク・バンドが2年ぶりに登場する。それぞれの楽団の持ち味と、吹奏楽ならではの響きやアレンジを存分に堪能できるこの機会、どうぞお聴き逃しなく！

前橋汀子 秋のデイトライト・コンサートVol.7 ヴァイオリン パイプオルガンと弦楽アンサンブル

10月29日(火) 11:30開演 コンサートホール

詳細はHPへ



今年で7回目を迎える前橋汀子によるデイトライト・コンサート。毎年、誰もが知る名曲を前橋汀子一流のヴァイオリンで楽しめる、人気の公演だ。今年はピアノや弦楽カルテット、パイプオルガンと共に、J.S.バッハやドビュッシー、ショパン、ドヴォルザーク、クライスラーといった名作曲家たちの楽曲をお届けする。平日の昼間、ショッピング、ランチ、お待ち合わせの前に、気軽にヴァイオリンの名曲に耳を傾けるひとときをお楽しみいただきたい。

ヴァイオリン：前橋汀子 ピアノ：松本和将 シンセサイザー：丸山貴幸
弦楽カルテット：森下幸路、岡本伸一郎、小倉萌子、門脇大樹 パイプオルガン：小林英之
曲目：J.S.バッハ／トッカータとフーガ ニ短調 ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」第2楽章 ほか
【お問合せ】カジモト・イープラス 0570-06-9960

ラファウ・ブレハッチ&アンドレイ・ボレイコ&ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ポーランド芸術祭2019 in Japan 参加公演

11月2日(土) 14:00開演 コンサートホール

詳細はHPへ



2005年ショパン・コンクール優勝後、確実にレパートリーを広げ続け、作品の深い本質に迫るブレハッチが2018年に続き、リサイタルとコンツェルト公演で全国ツアーを行う。コンツェルトのプログラムはショパン前半生のポーランド時代に書かれた最高傑作と言える第1番、第2番の2曲。共演はポーランドを代表する、ショパンの音楽を熟知するワルシャワ国立フィル。指揮は今シーズン音楽監督に就任するボレイコ。叙情あふれる名曲をブレハッチが紡ぎあげる一期一会のこの公演は聴き逃せない。

ピアノ：ラファウ・ブレハッチ 音楽&芸術監督・指揮：アンドレイ・ボレイコ 管弦楽：ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団
曲目：スタニスワフ・モニューシュコ／歌劇「パリア」序曲 ショパン／ピアノ協奏曲 第1番、第2番
【お問合せ】ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212

フィラデルフィア管弦楽団

11月5日(火) 19:00開演 コンサートホール

詳細はHPへ



全米ビッグ5のひとつで屈指の名門、「華麗なるフィラデルフィア・サウンド」と称えられる唯一無二の豊かな響きをもつフィラデルフィア管弦楽団が、昨年あのMETのそれにも就任した天才音楽監督ネゼ＝セガンとともに来日！ドヴォルザークが故郷を思っアメリカで書いた傑作交響曲「新世界から」と、晩年フィラデルフィアに住んでこの楽団と縁の深いラフマニノフの名作ピアノ協奏曲を披露する。オーケストラ演奏の醍醐味をたっぷりと味わえる公演になるはずだ。

指揮：ヤニック・ネゼ＝セガン ピアノ：ハオチェン・チャン 管弦楽：フィラデルフィア管弦楽団
曲目：ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op.18 ドヴォルザーク／交響曲第9番 ホ短調 op.95「新世界から」
【お問合せ】カジモト・イープラス 0570-06-9960

「めにみえない みみにしたい」

作・演出：藤田貴大

“めにみえない” 舞台に触れる

おんなのこは、飼い猫の

にゃあにゃあちゃんから聞いた夜の森へ――。

子どもから大人まで一緒に楽しめる藤田貴大の舞台が、東京芸術劇場に登場。



舞台『めにみえない みみにしたい』は、2018年に藤田貴大（マームとジブシー）がつくり上げた話題作。東京芸術劇場のプレイハウスも大胆に使いこなす気鋭が、子どもから大人まで一緒に楽しめる創作に初めて挑んだ作品だ。物語の軸は一人のおんなのこ。観劇後は、まるでこの少女と遠くまで冒険したような体感が残るだろう。

筆者が観たのは、昨春埼玉でのマチネ公演。劇場に入ると、アクティングエリアの目の前には人工芝が敷き詰められている。椅子席もあったが、開演を待つたくさんの子どもたちが自由に過ごす芝生スペースに心惹かれ、そちらに座ってみた。少し場内が暗くなり、白い衣装の出演者が「みなさん、こんにちわ。…けれども、いまは、夜です。なので、こんばんわ…」と語りかけると、騒々しかった空間が瞬時に夜の“どこか”に変容していく。夜の森、たくさんの動物たち、不思議な生き物、そして妖精。役者たちが多彩な登場人物を演じ分けていく仕掛けに、さっきまで走りまわっていた子どもたちも集中し、絵本を読んでもらうように自然とお話の中に誘われる。舞台に向かって思わず、「誰?」「なんで?」と問いかける場面も微笑ましい。まるで肌で物語を取り込むような瑞々しい感性の子どもたちと一緒にいると、こちらのピュアな感覚も呼び覚まされるようだ。

この世界は目にみえてるものだけでつくられているのだろうか？

マリンバの心躍る素朴なリズム、繊細なピアノの音、胸をぎゅっと掴む歌声、郷愁を誘うメロディー。『cocoon』（13年初演）以来の藤田作品参加となった原田郁子の心にまっすぐ届くような音楽は、このおとぎ話に優しく寄り添うよう。役者たちによる楽器演奏も楽しい。衣装は幾度も藤田とタッグを組んでき

たsuzuki takayuki。生地の柔らかい風合いを活かしたシンプルな洋服は、役者が動くときとふわりと揺れる。しゃぼん玉が飛び、大きな布が空中を舞うと新たな風景に変化していく。そこにじゃんけんやしりとりといったゲームの要素も加わり、子どもたちも時に声を出しながら飽きずに過ごせるので、まだじっと座ってられない年代でも、安心して“参加”できるだろう。

「今夜は、目を凝らし、耳を澄まし、小さな灯りをたよりに、森へでかけます」「たとえばここが、海の底だったら」「わたしたちは、いつのまにか、見渡しのよい、草原に立っていた。ここには、音がなかった…。ときどき吹く、おおきな風もない…」――想像力を刺激する台詞の数々に、“ごっこあそび”でイメージを膨らませ、どこまでも行けた子ども時代の思い出がよみがえる。観る者の想像力に委ね「見立て」で紡がれる手法は、観客、そして演劇への信頼にも感じられた。

劇中の「この世界は目にみえてるものだけでつくられているのだろうか?」という問いかけは、大人には沁みる言葉だろう。普段は気がつかない、われわれを取り巻く世界にひそむ美しさ。そこに織り込まれるのは、孤独といった現実だ。小さな人たちが母の温もりを離れた時、この日観た場面の一つひとつが、生きる背中を押してくれるかもしれない。

文：川添史子（演劇ライター）

8月31日(土)～9月1日(日) シアターイースト ほか全国13都市公演あり

作・演出：藤田貴大

音楽：原田郁子

衣装：suzuki takayuki

出演：伊野香織 川崎ゆり子 成田亜佑美 長谷川洋子



藤田貴大 ©権山紀昭

関連企画 芸劇こどものアトリエ リハーサルルーム(B2F)

【地図のワークショップ】 8月30日(金) 13:00～16:00

藤田貴大による小学生向けワークショップ

「今朝、最初に話した人は?」「会場までの道のりは?」藤田貴大がワークショップ参加者へインタビューをしながら、全員でそれぞれの風景を再現して行きます。最後には、再現されたシーンを藤田が構成し、みんなで小さな演劇作品を発表します。演劇末体験者大歓迎！

講師：藤田貴大 ほか 対象：小学生（保護者同伴可） 料金：500円 定員：15名（応募者多数の場合は抽選）

受付期間：6月15日(土) 10:00～7月20日(土) 申込方法：東京芸術劇場HP お申込フォーム よりお申込みください。

【かんげきのおみやげ】 8月31日(土)・9月1日(日) 各公演終了約30分後より開始 ※「めにみえない みみにしたい」ご観劇後にご参加いただくワークショップ

いま観たモノ、体験したコトは、自分の心に残る「おみやげ」。その「おみやげ」を、自分だけではなくみんなの「おみやげ」にしてみよう、というワークショップ。

一人ひとりが感じたこと、思ったことを、みんなでからだ全部使って味わい、共有し、もっとすてきな「おみやげ」をもって帰りましょう！

対象：4才～小学2年生まで（保護者同伴可） 時間：約80分 講師：櫻井拓見 たけうちみずゑ 宮野祥子

料金：500円 ※「かんげきのおみやげ」セット券 1,400円（公演とのセット券）

定員：各回15人 受付期間：6月15日(土) 10:00より希望日時の前日まで。※定員数に達し次第、締め切る場合がございます。

申込方法：0570-010-296(東京芸術劇場ボックスオフィス)へ下記情報をご準備の上、お電話にてお申し込みください。

①参加されるお子様のお名前、年齢 ②保護者の方のお名前、ご連絡先（電話番号とメールアドレス） ③ご希望の公演日時

芸劇dance イデビアン・クルー「幻想振動」

7月26日(金)～28日(日) シアターイースト

詳細はP14へ



イデビアン・クルーが初のデュオ作品に挑む！

イデビアン・クルーが約2年ぶりに新作を発表。今回のメンバーは、カンパニーのコアメンバーの2人、井手茂太と斉藤美音子による初のデュオ作品となる。昨上演された総勢16名のダンサーによるカンパニー代表作『排気口』から一転してミニマルな構成となり、新たな挑戦となりそう。2人のダンサーがひびのこづえの衣装をまとい、仕掛けに満ちた空間で展開される“幻想振動”とは？ 独創的な世界観にも期待大。なお今回は舞台に共に出演して場面を盛り上げるエキストラ・クルーも募集する。イデビアン・クルーの世界に是非生身で巻き込まれてみてほしい。

振付・演出：井手茂太 衣装：ひびのこづえ

出演：斉藤美音子 井手茂太

【お問合せ】days 03-3464-5026

eyes plus 贅沢貧乏「ミクスチュア」

9月20日(金)～29日(日) シアターイースト

詳細はP18へ



Photo:Kengo Kawatsura

注目の才能が鳴らす、柔らかで真摯な警鐘

2年前、芸劇eyesで上演した「フィクション・シティー」が、2018年の岸田國士戯曲賞最終ノミネートとなった山田由梨。昨年は中国公演を成功させたり、今年は小説の連載をスタートさせたりと活躍の範囲を飛躍的に拡げている。彼女が率いる贅沢貧乏は、戯曲の言葉は柔らかく、美術セットや衣裳はポップでありながら、ジェンダーや非正規雇用など現代の社会問題を深く捉える。満を持して用意した新作は、カテゴライズして生まれる分断と、同類と判断して生まれる危うさを取り上げる。

文：徳永京子

作・演出：山田由梨 音楽：金光佑実 舞台美術：山本貴愛 衣装：小高真理(malamute)

出演：大竹このみ 田島ゆみか 青山祥子 小日向星一 中藤奨 細井じゅん 松澤傑 武井琴 浜田亜衣

【お問合せ】贅沢貧乏 050-5243-4685

劇団チョコレートケーキ「治天ノ君」

10月3日(木)～14日(月・祝) シアターイースト

詳細はHPへ



「治天ノ君」2016年公演

自由を何重にも禁じられたある男の物語

即位から間もなく、健康問題を理由に活動や意向がほとんど報じられなくなり、十数年の短い在位期間でひっそりと亡くなった大正天皇。歴代天皇の中でもきわめて謎が多いその半生を、皇后との交流を軸に大胆かつ繊細に描き、劇団チョコレートケーキの名を一気に広めた作品が、再々演にしようやくシアターイーストで上演される。祝祭ムードの中で新元号がスタートした今、考えたい課題が詰まった1作だ。大正天皇役の西尾友樹、皇后役の松本紀保が続投するのうれしい。

文：徳永京子

作：古川健(劇団チョコレートケーキ) 演出：日澤雄介(劇団チョコレートケーキ)

出演：西尾友樹 浅井伸治 岡本篤(以上、劇団チョコレートケーキ)／

青木柳葉魚(タテヨコ企画) 菊池豪(Peachboys) 佐瀬弘幸 谷仲恵輔(JACROW) 吉田テツタ／松本紀保

【お問合せ】劇団チョコレートケーキ 080-9080-1861

COMING UP NEXT 2019.11-12

演劇・ダンス ラインナップ

11月21日(木)～24日(日) シアターイースト

eyes plus 鳥公園「終わりにする、一人と一人が丘」

12月13日(金)～15日(日) シアターイースト

「朗読東京」

11月29日(金)～12月11日(水) シアターイースト

三重県文化会館共催 原案：村田沙耶香、松井周 脚本・演出：松井周

inseparable「変半身(かわりみ)」

12月18日(水)～22日(日) シアターイースト

eyes plus

ワワフラミンゴ「12月のワワフラミンゴ(仮)」

※日程等に変更が出る場合がございます。

東京芸術祭2019 芸劇オータムセクション
「三人姉妹」 レッドトーチ・シアター
「BLIND」 デューダ・パイヴァ

目を懲らし、 耳を澄ませて体感する

ヨーロッパをどよめかせている
レッドトーチ・シアター(ロシア)の手話による
「三人姉妹」と、失明体験に基づくダークな
パペット・ファンタジー「BLIND」が初来日！

2016年5月のウィーン芸術週間(アヴィニョンやエディンバラと並ぶ歴史と規模を誇る国際芸術祭)で出会った「三人姉妹」は、あまりにも鮮烈だった。事前に知り得たのは、「シベリアの劇団による手話の「三人姉妹」という情報のみ。ろう者、あるいはろう者と健聴者が混在した俳優による、手話の舞台ということだろうか。経験則から、そんな想定をしながら席に着いた。

舞台では、耳の遠い老人役であるフェラポントが声を出して話す以外は、全員が手話で会話を交わしている。つまり、みな基本的に無声なのだが、イリーナが観るミュージック・ビデオや、マーシャが吹くホイッスル、アンドレイがかき鳴らすヴァイオリン、誰かがテーブルを叩く音、椅子を引く音、食器を重ねる音、時計の秒針や風の音などなど、舞台には過剰なまでに音が横溢していて、非常にかまびすしい。しかも、ドアと家具などの調度品のみが置かれ、壁を取り払った舞台装置のため、大ぜいの登場人物たちの所為が、丸ごと同時に視界に飛び込んでくる。視覚的にも聴覚的にも、膨大な情報量の「三人姉妹」だ。

なかでも目を見張るのが、第三幕。火事騒ぎの後のざわつく深夜、各自の気持ちが昂ぶる場面で、演出のティモフェイ・クリャビンは、突如屋敷の中を停電にしてしまう。漆黒の闇の中、各所でスマホ画面が点灯し、そこうごめく人々の身体や表情の一部が照らし出される。わずかな手元の明かり



「BLIND」 Photo:Patrick Argirakis

「BLIND」(ブラインド) 詳細はHPへ
10月17日(木)～20日(日)
シアターイースト
原案・振付・人形操演:デューダ・パイヴァ
演出:ナンシー・ブラック

「三人姉妹」 詳細はHPへ
10月18日(金)～20日(日) *上演時間約4時間(休憩3回)
プレイハウス
作:アントン・チャーホフ 演出:ティモフェイ・クリャビン
出演:レッドトーチ・シアター



「三人姉妹」 Photo:Frol Podlesny

を確保しながら、手話で激情を爆発させ、泣き叫ぶ姉妹たち……。

「暗闇の中のろう者」という虚を衝くような発想を、(たぶん)躊躇無く実行に移す演出家もただ者ではないし、圧倒的な集中力とリアリティで、事もなげにそのシチュエーションを演じきる俳優たちにも舌を巻く。そして、次第にわからなくなってくる。この俳優たちはろう者なのか。それとも、ろう者を演じているのか……。

突拍子もない仕掛けで観る者を煙に巻くティモフェイ・クリャビンの「三人姉妹」は、ウィーンで観客の度肝を抜き、ヨーロッパ中の評判となって、このたびついに、日本への初上陸が決まった。事の真偽を、ぜひ直接体感して確かめてほしい。

一方、ブラジル出身でオランダを拠点に活動するデューダ・パイヴァは、幼いころに一時的に視力を失ったことがあり、その体験をもとに「BLIND」(blind=盲目。気づかない、見る目がない、無軌道……と意味は広がる)という作品を創ったそうだ。

大きなランプシェードか、一人用テントのような白くこんもりした物体が、ロープにつながれ床に置かれている。客席で雑談していた男が立ち上がり、それに近づくと、こんもりした物体のてっぺんから、突然スキンヘッドの女性の上半身パペットが現れる。このこんもりは、スカートを丸く広げるために着用する腰枠付きペチコートだったのか。高らかに歌い出す女性は、その場にいる観客の目と耳を一瞬のうちに惹き付けるディーバのよう。

妖艶でいて獣の猛猛さを併せ持つ彼女は、まもなく男の胸元がいびつに膨らんでいることに気づくと、迷わずそこを引き裂いてみせる。苦しむ男の体内からは、なんとエイリアンのような、もうひとりの人間が! 見れば男の身体は胸だけでなく、背中、膝、肩、腰と、そこかしこが、ゴツゴツと隆起している。ということは……。

ちょっと不気味で思索を促すような面持ちのパペットたちに、腹話術の要領で命を吹き込み対峙するデューダ・パイヴァ。マジカルなファンタジーであると同時に、人間の暗部を顕在化させたような、戦慄のパフォーマンスともいえる。五感を研ぎ澄ませて、その場に自分の身を置く必要がありそうだ。

文:伊達なつめ(演劇ジャーナリスト)



東京芸術祭2019
「暴力の歴史」
演出:トーマス・オスターマイアー

インタビュー トーマス・オスターマイアー

陶酔、痛み、そして社会にとけこめない悲しみ

今秋ベルリンの名門劇場シャウビューネによる
「暴力の歴史」が来日を果たす。
演出を担う芸術監督オスターマイアーは
「これこそ現代社会に必要な演劇」と語る。

32歳でシャウビューネ芸術監督に選ばれて以来、知性と美意識を備えた演出で勇名を馳せるオスターマイアー。作品はアヴィニョンやシビウなどの国際演劇祭にも招かれ、ヨーロッパのみならずアジアでも人気を博す※1。古典にも現代の問題を織り込み観客を触発する功績で、ヴェネチアビエンナーレ金獅子賞(2011)をはじめ多くの受賞に輝いた。戯曲解釈と視聴覚効果の両面に秀でた彼が、舞台化を熱望した小説がエドゥアール・ルイ作『暴力の歴史』だ。

極貧家庭に生まれ「男らしくない」ためにいじめられた少年時代をつづる小説『エディに別れを告げて』(2014/日本語版は東京創元社より2015年刊)で、ルイは注目を集めた。次作『暴力の歴史』ではアルジェリア系のレダにレイプされるエドゥアールを通し、差別が人類に与える影響を問う。

「社会をゆがめる対立を描く『暴力の歴史』は、私たちを困む危機に気づかせます。エドゥアールを苛む心身の傷が、悲惨な事件の背景と結果を考えさせるからです。ある共同体の多数派の人は、同性愛者や外国人などの少数派を排除しやすい。でも、自分と異なる〈他者〉を疑い恐れることが、人間の尊厳を奪う例は東西の歴史に刻まれています」

たしかに偏見が起こす悲しい事件は、日本でも共有できる問題だ。

「私たちは異文化圏の出身者を受け入れ、自分と同様に複雑な文明と内面をもつ人として認めなくてはなりません。レダの荒んだ態度には、移民の息子という出自がからんでいます」

将来の可能性を閉ざされた孤独な存在に、オスターマイアーは目を向ける。

「カミュの小説『異邦人』(1942)を思い出して下さい。フランスの植民地だったアルジェリアでムルソーに殺される被害者は、〈アラブ人〉としか呼ばれません※2。74年後にルイが〈他者〉の立場のレダに、名前とアイデンティティを与えた小説は、ヨーロッパ文学が古い習慣を脱した証ともいえます」



Photo:Arno Declair @schaubühne

俳優の力強い演技と、映像が融け合う新鮮な表現

殺されかけトラウマを負ったエドゥアールは、警察官と姉の対応に更なる衝撃を受ける。

「警官はレダの出自を蔑む。故郷では排外主義政党が勢力を伸ばし、姉は弟がゲイであることにも向き合えない。誰にも助けを期待できないエドゥアールは、傷をいやすためにトルコに赴くと人々の顔にレダの面影を見て替えます」

ここでオスターマイアーは微笑み、「けれども苦痛だけではなく、ときめきもあふれる芝居ですよ」と説く。

「レダによる盗難に気づく前は、愛の物語でもあります。エドゥアールはレダに魅了されたから、自室に入れてしまった。コミュニケーションが成り立つ場面は美しい。心の通い合いも、エロティックな交流も陶酔を誘うでしょう」

起伏に富むドラマに新鮮な表現をもたらすのは、複数の役を兼ねる俳優の名演と大スクリーン。例えば、姉の夫役(クリストフ・ガヴェンダ)が警察官、エドゥアールの母等を演じる中、風刺的な誇張が促す笑いは、臨場感を盛り上げる映像で増幅される。

いっぽうレダ役の俳優(レナート・シュッフ)の黄色いベスト姿は、典型的な労働者のいでたち。それはフランスで多くの負傷者を出している政府への抗議活動、いわゆる「ジェ・ジョーヌ(黄色いベスト)運動」を連想させた。

「黄色いベストを着た人々のデモは本作発表後に起こった運動ですが、最近パリで私はデモ隊と警察の衝突を撮影しました」

オスターマイアーが開いたスマートホンには、「自由、博愛、平等」を象徴する三色旗を掲げるデモ隊の画像が並ぶ。

「今、自由はグローバル企業には許されても、個人にとっては幻想にすぎません。世の不公平を減らす知恵も、いろいろな環境の人と舞台を共有しつつ育てたいですね」

文:桂真菜(舞踊・演劇評論家)

※1 イブセン作「ノラ(人形の家)」(2005年来日、世田谷パブリックシアター)と「民衆の敵」(2018年来日、静岡芸術劇場)を現代化した作品(共にシャウビューネ制作)も喝采を浴びた。
※2 カミュ作「異邦人」をアルジェリア人の視点から読み直す、カメル・ダーク(1970～)による小説「もうひとつの『異邦人』ムルソー再捜査」(2013)の翻訳が今年、水声社より刊行。

フランスの作家エドゥアール・ルイ(1992～)は『暴力の歴史』(2016)を、同性愛者である自身の体験を基に著した。パリに住む主人公エドゥアールは、冬の夜に移民二世の美青年レダに誘惑され、自宅に招く。親密に過ごした後、携帯が消えたことにエドゥアールが気づくと、レダは暴力をふるって去る。後日この事件を伝えたところ、警官も故郷の姉も人種差別を露わにする。エドゥアールはトラウマから逃れるため、トルコに旅立つが……。

「暴力の歴史」 詳細はHPへ
10月24日(木)～26日(土) プレイハウス
原作:エドゥアール・ルイ 演出:トーマス・オスターマイアー

東京芸術祭2019公式サイト tokyo-festival.jp/2019



7 JUL ▶
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 祝 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水
 東京芸術劇場
 ボックスオフィス **0570-010-296** 〔休館日を除く〕
10:00~19:00 東京芸術劇場
 ホームページ **www.geigeki.jp** 休館日・22日(月)・23日(火)

Concert Hall

1

(日) 19:00開演

BOX

響きあうアジア2019ガラコンサート

出演	小林研一郎 (Cond) / 瀬崎明日香 (Vn) / 響きあうアジア2019交響楽団 / 朝岡聡 (司会)
曲目	ヴェルディ / 「アイダ」より「凱旋の行進曲」 サラサーテ / ツィゴイネルワイゼン シベリウス / 交響詩「フィンランディア」ほか
料金	S:3,500円 / A:2,500円 / B:1,500円 / S席ペア:6,000円 / 学生 (A席):1,000円 / ハンディキャップ割引:1,000円
問合せ	日本オーケストラ連盟 03-5610-7275

2日(火) Closed・関係者のみ
平成31年度中央区立小学校・中学校 音楽鑑賞教室

4 日(木) Closed・関係者のみ
平成31年度千代田区音楽鑑賞教室

6日(土) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団 第218回土曜マチネーシリーズ

出演 小林研一郎(Cond)/アンドレアス・OTTENGERMA(Cl)/読売日本交響楽団
曲目 ウェーバー/歌劇「魔弾の射手」序曲
 クラリネット協奏曲第1番
 ドヴォルザーク/交響曲第8番

料金 S: 7,500円/A: 5,500円/B: 4,500円/C: 4,000円
問合せ 読売チケットセンター 0570-00-4390

7日(日) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団 第218回日曜マチネ・シリーズ

出演 小林研一郎 (Cond)/アントニウス・ヴェテナーマー (Cl)/読売日本交響楽団

曲目 ユーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲
 クラリネット協奏曲第1番
 ドヴォルザーク／交響曲第8番

料金 S: 7,500円/A: 5,500円/B: 4,500円/C: 4,000円

問合せ 読売チケットセンター 0570-00-4390

Playhouse

～3日(水)

BOX

	7月	1月	2火	3水
12:30	●	●	●	●
16:00	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●

響きあうアジア2019

「フィーバー・ルールム」

ディレクター アビチャップボン・ウィーラセタクン

料金
【整理番号付自由席】前売…一般:4,500円／25歳以下:2,500円
 当日…一般:4,500円／25歳以下:3,000円
 障がい者割引:各券種の10%引
 ※推奨年齢10歳以上

問合せ
PARC - 国際舞台芸術交流センター 03-5724-4660

8日(月) 19:00開演

billboard classics

玉置浩二 premium symphonic concert 2019

出演 湯浅卓雄(Cond)/玉置浩二(Vo)/東京フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ

作曲 松井五郎・玉置浩二/悲しみにさよなら
須藤晃・玉置浩二/田園
井上陽水・玉置浩二/夏の終わりのハーモニー ほか

料金 【全席指定】12,000円

問合せ キョードー東京 0570-550-799

9日(火) 19:00開演 BOX

オーケストラ・アンサンブル金沢 東京特別公演

出演	マルク・ミンコフスキ(Cnd) / クリストフ・フツツ(Vn) / オーケストラ・アンサンブル金沢
曲目	ベートーヴェン / ヴァイオリン協奏曲 ブラームス / セレナード第1番
料金	¥ 7,500円 / A: 6,000円 / B: 4,000円
会場	石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632

10日(水) 19:00開演 BOX

ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

出演	エリアフィンバル(Cond)/アリス=紗良・オット(Pf)/ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団
曲目	モーツァルト/ピアノ協奏曲 第21番 マーラー/交響曲第5番
料金	S:16,000円/B:14,000円/B+:11,000円/C:8,000円/D:6,000円
問合せ	ジャパン・アーツビル 0570-00-1212

11日(木) 18:30開演 BOX

**東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル
第50回定期演奏会**

出演 汐澤安彦、津堅直弘(Cond)／外園祥一郎(Euph)／
東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル

曲目 スッペ(三戸知章編)／喜歌劇「輕騎兵」序曲
バーンス／交響の序曲
ケツツピッチ／ユーフォニアム協奏曲「皇帝」ほか

料金 【全席指定】1,500円

問合 東京音楽大学演奏課 03-6455-2757

12日(金) 19:00開演

billboard classics

玉置浩二 premium symphonic concert 2019

出演 湯浅卓雄(Cond)/玉置浩二(Vo)/東京フィルハーモニー交響楽団

曲目 松井五郎・玉置浩二／悲しみにさよなら
 須藤晃・玉置浩二／田園
 井上陽水・玉置浩二／夏の終わりのハーモニー ほか

料金 【全席指定】12,000円

問合せ キョードー東京 0570-550-799

13日(土) 13:30開演 BOX

久保田孝 喜寿記念コンサート

出演	久保田孝 (Cond) / 久保田孝喜寿記念マンドリンオーケストラ
曲目	舞踊風組曲第1番〜第4番 交響曲第7番「未完成」 幻想序曲「ロメオとジュリエット」 ほか
料金	【全席指定】一般:2,000円 / 学生:1,500円
問合せ	久保田孝喜寿記念コンサート実行委員会 042-422-6368

14日(日)16:00開演 BOX

仲道郁代 ピアノ・フェスティバル Vol.2

15:15 6人のピアニストクlostーク

出演 仲道郁代、横山幸雄、菊池洋子、實川風、松田華音、藤田真央 (Pf)

曲目 モーツァルト／2台のピアノのためのソナタ ニ長調
ドビュッシー／ベルガメツ組曲より「月の光」

サン＝サーンス／動物の謝肉祭「白鳥」
シャブリエ／「エスパーニヤ」
ボロティン／「イーゴリ公」よりダッタン人の踊り
J.シュトラウスII／美しく青きドナウ
モーツァルト／トルコ行進曲
横山幸雄／カルサンの誘惑と幻想～5台のピアノのための
リムスキー＝コルサコフ／蜂蜂の飛行
サン＝サーンス／死の舞踏
ホルスト／ジュピター（組曲「惑星」より）
S: 7,000円／A: 6,000円／B: 5,000円
ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット
 取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)

- ・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
- ・最新情報は、各回問合せ先までご確認ください。
- ・原則未就学児のご入場はお断りしています。
- ・年齢割引チケットは要証明書。
- ・※は劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱い。

15日(月・祝) 14:00開演 BOX

新交響楽団第246回演奏会

出演 矢崎彦太郎(Cond)/新交響楽団

曲目 ベルリオーズ/劇の交響曲「ロメオとジュリエット」より
 プロコフィエフ/組曲「ロメオとジュリエット」より
 パーンスタイン/「ウェストサイドストーリー」よりシンフォニックダンス

料金 S:3,000円/A:2,500円/B:1,500円

問合せ コンサートタイムズ 03-3235-3777

17日(水) 11:00開演 BOX

-芸劇ランチコンサート- 名曲リサイタル・サロン

第2回「萩原麻未 ピアノ・リサイタル」

出演 萩原麻未 (Pf) / 八塩圭子 (ナビゲーター)

曲目 ショパン／ワルツより 第1番「華麗なる大円舞曲」、
第9番「別れのワルツ」、第6番「子犬のワルツ」

モンボウ／「歌と踊り」より
ラヴェル／ラ・ヴァルス ほか

料金 【全席指定】2,400円

問合せ サラザイズプロモーション東京 0570-00-3337

18日(木) 12:15開演 BOX

ランチタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.133

出演 小野なおみ(Org)
料金 【全席自由】500円
問合 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

16日(火)・17日(水) 19:00開演

二師弟に流れる江戸の風
雲助・白酒そして一朝・一之輔

出演 五街道雲助 / 桃月庵白酒 / 春風亭一朝 / 春風亭一之輔 (ほか)

【全席指定】 4,000円 両会 夢空間 03-5785-0380

18日(木) 19:00開演
三遊亭白鳥 独演会～白鳥ジャパンVol.5～
 料 金 【全席指定】 3,600円
 問 合 夢空間 03-5785-0380

ルト(A) / ベース(B) / バリトン(Br) / バス Bs) / コントラバス(Cb) / チェロ
ム(Euph) / ファゴット(Fg) / フルート(Fl) / ギター(Gt) / ハープ(Hp) /
Org) / パーカッション(Per) / ピアノ(Pf) / ソプラノ(S) / サクソフォーン
b) / チューバ(Tub) / ヴィオラ(Va) / チェロ(Vc) / ヴァイオリン(Vn)

19日(金) 19:00開演

billboard classics

玉置浩二 premium symphonic concert 2019

出演 デヴィッド・ガルフォース(Cond)/玉置浩二(Vo)/ロシア国立交響楽団

作曲 松井五郎・玉置浩二/悲しみにさよなら
須藤晃・玉置浩二/田園
井上陽水・玉置浩二/夏の終わりのハーモニー ほか

料金 【全席指定】16,000円

問合せ キョードー東京 0570-550-799

20日(土) 18:00開演

東京ニューシティ管弦楽団第3回ポップス定期演奏会

出演 大崎慶子(Cond)/Plastic Tree/東京ニューシティ管弦楽団

曲目 灯火
インサイドアウト
時間坂 ほか

料 金 【全席指定】8,500円

問合 レキップトロワ 03-3470-0330

21日(日) 14:00開演 BOX

「ドラゴンクエスト」ウインドオーケストラコンサート

出演 大井剛史(Cond)／東京佼成ウインドオーケストラ
 曲目 ドラゴンクエストⅣ、Ⅴ、Ⅵより
 料金 S:4,500円／A:3,570円
 問合 キョードー東京 0570-550-799

24日(水) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団第882回定期演奏会

出演 アラン・ギルバート(Cond)/東京都交響楽団
 曲目 モーツァルト/交響曲第38番(プラハ)
 ブルックナー/交響曲第4番(ロマンティック)
 (ノヴァーク:1878/80年版)
 料金 S:7,500円/A:6,500円/B:5,500円/C:4,500円/Ex:3,500円
 問合せ 都響ダイヤル 0570-056-057

25日(木) 18:30開演

NIPPON SYMPHONY CONCERT Vol.27 Summer Festival
～壮麗にしてロマンティシズム溢れる
大いなる協奏と交響の世界～

出演 新田孝 (Cond) / 小池美奈、秋川風雅、田中照子、安達のり子 (Pf) /
 池田宏里 (Gt) / NIPPON SYMPHONY

曲目 シューマン／ピアノ協奏曲
 チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番
 ブラーム／ピアノ協奏曲 ほか

料金 S: 8,000円 / A: 7,000円 / B: 6,000円

問合せ NIPPON SYMPHONY 090-5498-8573 /
 T&N企画 03-4477-5654

26(金)19:00開演・**27**(土)13:00開演 / 17:00開演 **BOX**

ミュージカル・ミーツ・シンフォニー アナサーステージ
ザ・グレイテスト・ヒッツ・フロム・アバ

出演 円光寺希彦 (Corid) / ビーター・ジョーバック、グニラ・バックマン、
サラ・オレイン、海宝直人 (Vo) / 読売日本交響楽団

曲目 マンマ・ミーア
ダンシング・クween
SOS ほか

料金 ¥ 9,800円 / A: 8,800円

申込 読売新聞東京本社事業開発部 03-3216-8606

28日(日) 11:00開演／14:00開演 **BOX**

第45回日本フィル夏休みコンサート2019

水森大祐(みずもり だいすけ)/江原勝(えはら かつ)
スターダンサーズ/バレエ団/日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 チャコフスキー/バレエ《眠りの森の美女》よりワルツ
J.シュトラウスII/雷鳴と電光、エジプト行進曲
プロコフィエフ/バレエ《春の夢》ほか
料金 大人…S:5,200円/A:4,200円/B:3,200円
子供…S:3,200円/A:2,500円/B:1,800円
問合せ 日本フィルサバービセンター 03-5378-5911

Theatre East

~7日(日)

響きあうアジア2019

「ブラータナー：憑依のポートレート」

原作 ウェット・ヘー・ムーン 監訳 岡田利規 原稿 塚原悠也
料金 [全席指定] 前売:4,000円/当日:4,500円/29歳以下:2,500円/学生:1
問合せ precog 03-6825-1223

<h1 style="margin: 0;">Theatre West</h1>	<p>BOX</p>
<h2 style="margin: 0;">~ 7日(日)</h2>	

文学座公演

「ガラスの動物園」

作 テネシー・ウィリアムズ

訳 小田島恒志

演出 高橋正徳

出演 塩田朋子 / 永宝千晶 / 亀田佳明 / 池田倫太郎

料金 【全席指定】一般：6,000円／夜劇（7/1）：4,000円／
ユースチケット：3,800円

問合せ 文学座企画事業部 03-3351-7265

響きあう DANCE

7月	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日
13:30	●	●	●	●	●	●	●
18:30	●				●		

(A) 昼付・演

(B) 昼付・演

(C) 昼付・演

料金 【全

BOX

7月	12月	13日	14日	15日	16日	17日
火	水	木	金	土	日	月
13:00	休	★		☆	●	
18:00	●	演	●	●	●	●

★=ポストトーク
☆=終演後に関連イベント
「あなたのポストトーク」

席料：1,500円/障がい者：1,500円 ほか

10(水)~17(水)

BOX

劇団青年座
「明日-1945年8月8日・長崎」

原作 井上光晴 脚色 小松幹生 演出 鈴木完一郎 演出助 山本龍二
出演 山本と志恵 / 津田真澄 / 山賀教弘 / 五十嵐風明 / 佐野美幸 ほか
料金 【全席指定】一般：5,000円/25歳以下：3,500円/18歳以下：2,000円/当日：5,500円
問合せ 劇団青年座 03-5478-8571

7月	10月	11月	12月	13日	14日	15日	16日	17日
金	土	日	月	火	水	木	金	土
14:00	●	●	●	●	★	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●

★=アフタートーク

12日(金)~14日(日)

BOX

あうアジア 2019
DANCE DANCE ASIA-Crossing the Movements 東京公演 2019

振付・演出 3T(ベトナム) 振付・演出 橋本 KATSUYA(日本)
振付・演出 Nikii(タイ) 振付・演出 橋本 スズキ拓朗(日本)
振付・演出 Crazy Rollers(日本)

① 振付・演出 GANMI(日本)
② 振付・演出 kEnkEn(日本)

料金 【全席指定】一般：3,500円/学生：2,500円/障がい者手帳割引：2,000円
※ご同伴のお子様割引販売(子ども券 2,000円/3歳以上小学生まで)
※年齢制限：7月12日(金)・・・3歳未満入場不可
7月13日(土)・14日(日)計公演・・・3歳未満入場可(膝上鑑賞無料、但し座席が必要な場合は子ども券をご購入ください。)

※サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

7月	12月	13日	14日
金	土	日	月
13:00	▲	●	
18:00	▲	●	
19:00	●	●	●

12日 19:00 A・B・C
13日 13:00 A・D・E / 18:00 B・C・E
14日 13:00 A・B・D

▲=ビデオ撮影のため場内にカメラが設置されます。

20日(土)・21日(日)

BOX

7月

20日

21日

15:00

●

19:30

●

芸劇danceワークショップ発表会

「東京ディグ/ライズ」

講師

北尾巨 (Baobab)

料金

【全席自由】一般: 2,000円 / U-25: 1,000円

会場

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

17日(水) 19:00開演

BOX

20日

日中韓による伝統音楽の調べ

「A列車」

出演 榎戸二幸(箏)／毛Y(中国古箏)／
金オル(カヤグム)
【全席自由】一般:3,000円／学生:1,000円
料金の會 03-3530-0973

作 北村勉
出演 石田ひさ子
料金 【全席自由】
料金の會 U-25

6日(金)~28日(日)

ance

ドビアン・クルー「幻想振動」

出演 井手茂太 出演 斉藤美音子 井手茂太

一般前売:4,500円/当日:5,000円/25歳以下:3,000円/65歳以上:3,500円*

高校生以下:1,000円/未就学児(★の回のみ):1,000円*

days 03-3464-5026

BOX

7月	26	27	土
13:00		★	
18:00		●	
19:00	●		

★=未就学児童

~28日(日)

BOX

	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土
14:00	●	休	休	●	●	●	●	●
19:00	●	休	演	●	●	●	●	●

乗っていこう」

■ 日澤雄介
／松風理咲

前売一般:4,500円／当日一般:5,000円／
以下:2,500円／シニア(60歳以上):4,000円

2人券はトム・プロジェクトのみで販売。要証明書。
エクト 03-5371-1153

30日(火)・31日(水) Closed・関係者のみ

地域創造フェスティバル2019

9 SEP ▶

123456789101112131415161718192021222324252627282930

日月火水木金土日月月祝火水木金土日月

東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

〔 休館日を除く
10:00～19:00 〕

東京芸術劇場
ホームページ

www.geigeki.jp

休館日・2日(月)

Concert Hall

1日(日) 13:30開演

BOX

認定NPO法人おながぐの共同作業場
認定10年記念 ～スヴィーテン男爵とハイドン～

出演 バスカル・ヴェロ(Cond)／高橋さやか(S)／小貫岩夫(T)／萩原潤(Bs)／オラトリオ・シンフォニカJAPAN

曲目 ハイドン／四季

料金 S:5,000円／A:4,000円／B:3,000円

問合せ おながぐの共同作業場 042-522-3943

5日(木) Closed・関係者のみ

日本大学第三中学高等学校 芸術鑑賞会

7日(土) 14:00開演

BOX

東京ニューシティ管弦楽団 第126回定期演奏会

出演 ミツ橋敬子(Cond)／トーマス・クリスチャン(Vn)／東京ニューシティ管弦楽団

曲目 プッチーニ／交響的綺想曲
バガニニ／ヴァイオリン協奏曲第4番
R. シュトラウス／交響的幻想曲「イタリヤから」

料金 S:6,500円／A:5,000円／B:3,500円／C:2,500円

問合せ 事務局チケットデスク 03-5933-3266

8日(日) 14:00開演

BOX

東京都交響楽団 第886回定期演奏会

出演 大野和士(Cond)／ホアキン・アチュカロ(Pf)／東京都交響楽団

曲目 シベリウス／トウオネラの白鳥
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番
シベリウス／交響曲第2番

料金 S:7,500円／A:6,500円／B:5,500円／C:4,500円／Ex:3,500円

問合せ 都響ガイド 0570-056-057

14日(土) 11:00開演／15:00開演

BOX

サラダ音楽祭
OK!オーケストラ
赤ちゃんOK!歌ってOK!踊ってOK!

出演 大野和士(Cond)／小林顕作(MC)／東京少年少女合唱隊(15時公演のみ)／東京都交響楽団 ほか

曲目 すぎやまこういち／交響組曲『ドラゴンクエストV』より「序曲」
ブラームス／ハンガリー舞曲第5番 ※指揮体験コーナー
プロコフィエフ／バレエ《ロメオとジュリエット》組曲第1番、
第2番より「モンタギュー家とキャピュレット家」、
「少女ジュリエット」、「タイボルトの死」
グノー／歌劇「ロメオとジュリエット」より「私は夢に生きたい」
みんなで一緒に歌おう! 久石譲／「さんぽ」(編曲／萩森英明) ほか
ティズニー・ファンタスティック・メドレー(編曲／萩森英明)

料金 【全席指定】一般:1,500円／
子供(3歳以上～高校生):500円※2歳以下膝上無料

問合せ サラダ音楽祭事務局 03-3663-6307

16日(月・祝) 14:00開演

BOX

サラダ音楽祭
音楽祭メインコンサート
《ロメオとジュリエット》

出演 大野和士(Cond)／谷口睦美(Ms)／村上公太(T)／妻屋秀和(Bs)／東京シティ・パレエ団(パレエ)／新国立劇場合唱団／東京都交響楽団 ほか

曲目 ペルリオーズ／劇的交響曲《ロメオとジュリエット》(日本語字幕付き)

料金 S:5,000円／A:4,000円／B:3,000円／
C:2,000円／車椅子席(S)5,000円
サラダ割引:S～B席 定価より10%OFF
(対象:25歳以下または65歳以上のお客様)
ハンディキャップ割引:S～B席 定価より10%OFF
(手帳をお持ちのお客様とその介助者1名まで)

問合せ サラダ音楽祭事務局 03-3663-6307

21日(土) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団
第220回土曜マチネーシリーズ

出演 セバスティアン・ヴァイグレ(Cond)／
ルドルフ・ブッフビンダー(Pf)／読売日本交響楽団

曲目 ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第4番
マーラー／交響曲第5番

料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:4,000円

問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

22日(日) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団
第220回日曜マチネーシリーズ

出演 セバスティアン・ヴァイグレ(Cond)／
ルドルフ・ブッフビンダー(Pf)／読売日本交響楽団

曲目 ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第4番
マーラー／交響曲第5番

料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:4,000円

問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

23日(月・祝) 14:00開演

BOX

日本フィルハーモニー交響楽団
サンデーコンサートスペシャル

出演 小林研一郎(Cond)／藤田真史(Pf)／日本フィルハーモニー交響楽団

曲目 モーツァルト／ピアノ協奏曲第20番
ベートーヴェン／交響曲第7番

料金 S:7,000円／A:5,500円／B:5,000円／C:4,000円／
Gs:4,000円／Ys:1,500円

問合せ 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

25日(水) 11:00開演

BOX

-芸劇ブランチコンサート-
名曲リサイタル・サロン
第3回『阪田知樹 ピアノ・リサイタル』

出演 阪田知樹(Pf)／八塩圭子(ナビゲーター)

曲目 リスト／愛の夢 第3番
ラ・カンパネッタ
シューマン(リスト編曲)／献呈
リスト／リゴレット・パラフレーズ
シューベルト／4つの即興曲 D.899/Op.90

料金 【全席指定】2,400円

問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

26日(木) 12:15開演

BOX

ランチタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.134

出演 安香菜(Org)

料金 【全席自由】500円

問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

26日(木) 14:00開講

BOX

パイプオルガン講座
第79回 -音づくりのひみつVol.1-
～フランス・シンフォニック～

講師 川越聡子(東京芸術劇場副オルガニスト)

副講師 平井靖子(東京芸術劇場副オルガニスト)／
マテュー・ガルニエ(オルガンビルダー)

受講料 1,000円(定員60名)

問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

28日(土) 14:00開演

BOX

ボンクリ・フェス2019 スペシャル・コンサート

出演 アンサンブル・ノマド(指揮:佐藤紀雄)／福川伸陽(Hr)／
八木美知依(箏)／本條秀慈郎(三味線)／
ヤン・バング(エレクトロニクス)／エリック・オノレ(エレクトロニクス)／
アイヴィン・オールセット(Gt)／ニルス・ベッター・モルヴェル(Tp)／
大友良英／萩原麻未(Pf)／藤倉大(エレクトロニクス)
サウンドデザイン:永見竜生[Nagie]

曲目 モートン・フェルドマン／サムシング・ワイルド・イン・ザ・シティー マリー・アンのテーマ
(ホルン、チェレスタ、弦楽四重奏のための)

挟間美帆／颯(はやて)
八木美知依／通り過ぎた道
「通り過ぎた道」PUNKTライブ・リミックス
テリー・ライリー／In C
坂本龍一／houj 1～Ⅲ(日本初演)
大友良英／新作(世界初演)
藤倉大／春と修羅(映画『蜜蜂と迷宮』より)
ホルン協奏曲第2番(アンサンブル全編版世界初演)

料金 S:3,000円／A:2,000円／U25(25歳以下):1,000円
スクリームチケット:2,000円(コンサートホールロビーでの
モニター鑑賞、1枚につき未就学児2名まで同伴可)

問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

29日(日) 14:00開演

BOX

プラスウィーク2019
東京吹奏楽団 第66回定期演奏会～Festival～

出演 小林恵子(Cond)／東京吹奏楽団

曲目 リード／メキシコの祭り
スミス／フェスティバル・バリエーション
三善晃／深層の祭
ドビュッシー／『夜想曲』より 祭り ほか

料金 【全席指定】一般:4,000円(1階席、2階席)／
学生:1,500円(1階エリア指定、3階)

問合せ 東京吹奏楽団 03-5937-5205

Playhouse

～1日(日) 13:00開演

BOX

PARCO プロデュース
「プレイハウス」

作・演出 根本宗子

出演 GANG PARADE／磯村勇斗／栗原類／鳥越裕貴／富川一／ブルー&スカイ／猫背椿

料金 【全席指定】8,500円

問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

7日(土)～23日(月・祝)

BOX

美輪明宏の世界～愛の話とシャンソンと～

構成・演出・出演 美輪明宏

演奏 セルジュ染井アンサンブル

料金 【全席指定】S:9,000円／A:7,000円

問合せ パルコステージ 03-3477-5858

9月	7土	8日	9月	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
15:00	●	●	休演	休演	休演	●	●	●	●	●	●	休演	休演	●	●	●	●

Theatre East

～1日(日) 11:30開演／15:00開演

BOX

「めにみえない みみにしたい」

作・演出 藤田貴大

出演 伊野香織／川崎ゆり子／成田亜佑美／長谷川洋子

料金 【全席自由】おとな(19歳以上):2,000円／こども(4歳以上):1,000円／
関連ワークショップ「かんげきのおみやげ」セット券(4歳～小学2年生):1,400円
※推奨年齢4歳以上 ※3歳以下の膝上鑑賞は無料(保護者1名につき、お子さま1名まで)。
※セット券は劇場ボックスオフィスにて電話のみ受付。

問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

6日(金)～8日(日)

BOX

演劇系大学共同制作
vol.7ミュージカル「ファザー・ファッカー」

原作・台本 内田春菊 演出 ベーター・ゲスナー(桐朋学園芸術短期大学教授)

音楽 佐東賢一 音楽監督・ピアノ演奏 高島愛

歌唱指導 信太美奈(桐朋学園芸術短期大学特任教授) 監修 宮河愛一郎

美術 牧野紗也子／石原敬 照明 兼子慎平 衣裳 吉原順乃

料金 【全席指定】一般:2,500円／大学生:1,500円／高校生以下:500円

問合せ 桐朋学園芸術短期大学 090-1415-8938

9月	4水	5木	6金	7土	8日
11:00				●	●
13:00		●	●	●	●
15:00				●	●
18:30	●	●			

Theatre West

～1日(日) 14:00開演

劇団銅鑼公演No.53
「ENDLESS 一挑戦!」

作 田口萌 演出 西川信寛

出演 佐藤文雄／長谷川由里／馬淵真希／植木圭／
永井沙織 ほか

料金 【全席指定】一般:5,000円／60歳以上:4,500円／
30歳以下:3,500円／高校生以下:1,500円

問合せ 劇団銅鑼 03-3937-1101

4日(水)～8日(日)

悪い芝居vol.24
「アイスとけるとヤバイ」

作・演出 山崎彬 音楽 岡田太郎

出演 中西柚貴／潮みか／植田順平／長南洸生／東直輝／
佐藤かりん／畑中華香／山崎彬 ほか

料金 【全席指定】前売:…一般:4,000円／U25:3,500円／
高校生以下:2,000円／当日:500円増

問合せ 悪い芝居 090-1441-1481

14日(土)～16日(月・祝)

サラダ音楽祭

問合せ サラダ音楽祭事務局 03-3663-6307

9月	19木	20金	21土	22日	23日	24火	25水	26木
14:00			●	●	●	●	●	●
19:00	●	●				●	●	

BOX

東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット
取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)……

・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。
・原則未就学児のご入場はお断りしています。
・年齢割引チケットは要証明書。
・*は劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱い。

略語表

アルト(A)／ベース(B)／バリトン(Br)／バス(Bs)／コントラバス(Cb)／チェンバロ(Cemb)／合唱(Chor)／クラリネット(Cl)／指揮者(Cond)／ユーフォニアム(Euph)／ファゴット(Fg)／フルート(F)／ハープ(Hp)／ホルン(Hr)／司会(MC)／メゾソプラ(Ms)／オーボエ(Ob)／パイプオルガン(Org)／パーカッション(Per)／ピアノ(Pf)／ソプラノ(S)／サクソフォーン(Sax)／テノール(T)／トロンボーン(Tb)／ティンパニ(Timp)／トランペット(Tp)／チューバ(Tub)／ヴィオラ(Va)／チェロ(Vc)／ヴァイオリン(Vn)

21日(土) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団
第220回土曜マチネーシリーズ

出演 セバスティアン・ヴァイグレ(Cond)／
ルドルフ・ブッフビンダー(Pf)／読売日本交響楽団

曲目 ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第4番
マーラー／交響曲第5番

料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:4,000円

問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

22日(日) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団
第220回日曜マチネーシリーズ

出演 セバスティアン・ヴァイグレ(Cond)／
ルドルフ・ブッフビンダー(Pf)／読売日本交響楽団

曲目 ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第4番
マーラー／交響曲第5番

料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:4,000円

問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

23日(月・祝) 14:00開演

BOX

日本フィルハーモニー交響楽団
サンデーコンサートスペシャル

出演 小林研一郎(Cond)／藤田真史(Pf)／日本フィルハーモニー交響楽団

曲目 モーツァルト／ピアノ協奏曲第20番
ベートーヴェン／交響曲第7番

料金 S:7,000円／A:5,500円／B:5,000円／C:4,000円／
Gs:4,000円／Ys:1,500円

問合せ 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

25日(水) 11:00開演

BOX

-芸劇ブランチコンサート-
名曲リサイタル・サロン
第3回『阪田知樹 ピアノ・リサイタル』

出演 阪田知樹(Pf)／八塩圭子(ナビゲーター)

曲目 リスト／愛の夢 第3番
ラ・カンパネッタ
シューマン(リスト編曲)／献呈
リスト／リゴレット・パラフレーズ
シューベルト／4つの即興曲 D.899/Op.90

料金 【全席指定】2,400円

問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

26日(木) 12:15開演

BOX

ランチタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.134

出演 安香菜(Org)

料金 【全席自由】500円

問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

26日(木) 14:00開講

BOX

パイプオルガン講座
第79回 -音づくりのひみつVol.1-
～フランス・シンフォニック～

講師 川越聡子(東京芸術劇場副オルガニスト)

副講師 平井靖子(東京芸術劇場副オルガニスト)／
マテュー・ガルニエ(オルガンビルダー)

受講料 1,000円(定員60名)

問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

28日(土) 14:00開演

BOX

ボンクリ・フェス2019 スペシャル・コンサート

出演 アンサンブル・ノマド(指揮:佐藤紀雄)／福川伸陽(Hr)／
八木美知依(箏)／本條秀慈郎(三味線)／
ヤン・バング(エレクトロニクス)／エリック・オノレ(エレクトロニクス)／
アイヴィン・オールセット(Gt)／ニルス・ベッター・モルヴェル(Tp)／
大友良英／萩原麻未(Pf)／藤倉大(エレクトロニクス)
サウンドデザイン:永見竜生[Nagie]

曲目 モートン・フェルドマン／サムシング・ワイルド・イン・ザ・シティー マリー・アンのテーマ
(ホルン、チェレスタ、弦楽四重奏のための)

挟間美帆／颯(はやて)
八木美知依／通り過ぎた道
「通り過ぎた道」PUNKTライブ・リミックス
テリー・ライリー／In C
坂本龍一／houj 1～Ⅲ(日本初演)
大友良英／新作(世界初演)
藤倉大／春と修羅(映画『蜜蜂と迷宮』より)
ホルン協奏曲第2番(アンサンブル全編版世界初演)

料金 S:3,000円／A:2,000円／U25(25歳以下):1,000円
スクリームチケット:2,000円(コンサートホールロビーでの
モニター鑑賞、1枚につき未就学児2名まで同伴可)

問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

29日(日) 14:00開演

BOX

プラスウィーク2019
東京吹奏楽団 第66回定期演奏会～Festival～

出演 小林恵子(Cond)／東京吹奏楽団

曲目 リード／メキシコの祭り
スミス／フェスティバル・バリエーション
三善晃／深層の祭
ドビュッシー／『夜想曲』より 祭り ほか

料金 【全席指定】一般:4,000円(1階席、2階席)／
学生:1,500円(1階エリア指定、3階)

問合せ 東京吹奏楽団 03-5937-5205

14日(土)～16日(月・祝)

BOX

サラダ音楽祭
ベイビーオペラ『ムルメリ』

出演 カリ・ハードウィック(S)／ディミトロ・カルムーチン(Br)／ポール＝アントニー・ケイトレー(Bs)

料金 【全席自由】赤ちゃん(満2歳未満):500円／一般:1,500円
※満2歳未満対象公演のため、一般のみでの購入不可。
※赤ちゃん1名につき一般2名まで購入可。

問合せ サラダ音楽祭事務局 03-3663-6307

20日(金)～29日(日)

BOX

贅沢貧乏「ミクスチュア」

作・演出 山田由梨 音楽 金光佑実 舞台美術 山本貴愛

衣裳 小高真理(malamute)

出演 大竹このみ／田島ゆみか／青山祥子／小日向星一／
中藤奨／細井じゅん／松澤傑／武井琴／浜田亜衣

料金 【整理番号付自由席】一般:4,000円／U25:3,500円*／高校生以下:1,000円*／当日各500円増

問合せ 贅沢貧乏 050-5243-4685

9月	20金	21土	22日	23日	24火	25水	26木	27金	28土	29日
13:00		●	●	●					●	●
18:00	★	★	★						★	
19:30	●	●	●	●	●	●	●			

★＝ポストトーク等のイベントあり

19日(木)～26日(木)

「君恋しーハナの咲かなかった男」

作 中島淳彦

演出 黒岩亮

出演 白倉裕人／磯辺万沙子／永井誠／金辰寿／北川勝博／渡辺慎平 ほか

料金 【全席指定】一般:5,000円／U24(24歳以下):3,000円

問合せ 劇団昴 03-6907-9220

28日(土)～30日(月)

中川久美 Anniversary The Greatest show
VIVA 80-KUMI「Road to …」

振付・構成 中川久美 演出 山本健翔 音楽 竹野康之

出演 小堺一機／関根勤(9/28(土)18:30)／
戸田恵子(9/29(日)15:00)／
ボブラ(9/30(月)12:30)／
高汐巴／平みち／マイク真木 ほか ステージ101メンバー

料金 【全席指定】S:6,000円／A:5,000円／当日:500円増

問合せ シアターキャタック 03-3495-2399

Gallery 1 (5F)

7	3日(水) 響きあうアジア2019 「映画分野における日本と 東南アジアの国際展開を考える」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025	4日(木) 響きあうアジア2019 「舞台芸術における 国際協働をめぐる」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025	5日(金) 響きあうアジア2019 「アジアにおける ソーシャル・イノベーション」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025	6日(土) 響きあうアジア2019 「三陸国際芸術祭」の 歩みと未来」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025	7日(日) 響きあうアジア2019 「“日本語パートナーズ” 経験者と話す会」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025
	10日(水)～15日(月・祝) 響きあうアジア2019 「呼吸する地図たち」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025	16日(火)～21日(日) 第25回新和様・漢字造型書 作家協会選抜展 問合せ 石橋 03-3234-3956	27日(土)～8月1日(木) 第42回東京都高等学校文化祭 写真部門A地区大会・B地区大会 問合せ 都立南葛飾高校 金澤 03-3691-8476		
8	3日(土)～6日(火) 第三十回記念泰永書展 -日壇修好150周年国際交流芸術展- 問合せ 泰永会事務局 03-3332-3701	8日(木)～17日(土) Gallery 1・2同時開催 傅益瑤が描く日本の祭絵展 問合せ 村田 090-3341-7577	21日(水)～28日(水) 第34回日本の海洋画展 問合せ 全日本海員福祉センター 03-3475-5391	30日(金)～9月1日(日) Gallery 1・2同時開催 「第30回記念日中友好 自詠詩書交流展東京展」 問合せ 中村 03-3837-4445	
9	4日(水)～8日(日) 第16回《書統》全国展 問合せ 萱原 03-3462-5251	14日(土)～16日(月・祝) Gallery 1・2同時開催 サラダ音楽祭 問合せ サラダ音楽祭事務局 03-3663-6307	18日(水)～23日(月・祝) 2019 全日本山岳写真展 問合せ 村田 090-8642-8808	28日(土) Gallery 1・2 Atelier East・West同時開催 ボンクリ・フェス2019 問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296	29日(日)～10月2日(水) 秋の日本水墨画展 問合せ 竹中 048-474-2239

Gallery 2 (5F)

7	19日(金)～21日(日) 舞台美術－島次郎回顧展 問合せ 堀尾 04-2945-4546	8日(木)～17日(土) Gallery 1・2同時開催 傅益瑤が描く日本の祭絵展 問合せ 村田 090-3341-7577	21日(水)～27日(火) 第28回 筆之友書展 問合せ 書道奨励協会 049-244-2222	30日(金)～9月1日(日) Gallery 1・2同時開催 「第30回記念日中友好 自詠詩書交流展東京展」 問合せ 中村 03-3837-4445	
9	4日(水)～8日(日) 中国書法名家・曾来徳作品展 問合せ 萱原 03-3462-5251	14日(土)～16日(月・祝) Gallery 1・2同時開催 サラダ音楽祭 問合せ サラダ音楽祭事務局 03-3663-6307	18日(水)～23日(月・祝) 「創形美術学校50周年版画展」 問合せ 創形美術学校事務局 03-3986-1981	28日(土) Gallery 1・2 Atelier East・West同時開催 ボンクリ・フェス2019 問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296	29日(日)～10月2日(水) 第10回ART CONFUSE展 問合せ 日本美術会 03-5842-5665

Atelier East (B1F)					
7	2日(火)～15日(月・祝) 響きあうアジア2019「災害とデザイン」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025	16日(火)～21日(日) ホームシックギャラリー倶楽部 「いごちの居場所」展 問合せ 三須 090-2631-0502	24日(水)～28日(日) 豊島フォトクラブ第17回作品展 問合せ 森岡 090-3081-0913／ 03-3917-7726		
8	2日(金)～4日(日) 「さくら会」積穂俳画展 問合せ 井原 045-981-6407	13日(火)～18日(日) 中津川ヒロ子個展 屋久島花筐 問合せ 中津川 0422-47-2724／ 090-7220-4550	22日(木)～25日(日) 写真展第13回「向かい風」 問合せ 古賀 080-4147-9091	26日(月)～9月1日(日) 2019年第27回 フォトクラブグランプリ写真展 問合せ 舘野 090-2740-6443	
9	4日(水)～8日(日) ボタニカルアッサンプラージュ 問合せ 吉本 090-2256-1606	9日(月)～16日(月・祝) 第13回 三軌会写真部東京多摩支部展 問合せ 草川 03-6767-5113／ 090-2549-6560	17日(火)～23日(月・祝) 第12回 東風会 作陶展 問合せ 石井 03-3869-7173	28日(土) Gallery 1・2 Atelier East・West同時開催 ボンクリ・フェス2019 問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296	29日(日)～10月2日(水) 一会展 ～花笑みの書～ 問合せ 酒井 090-2219-5736

Atelier West (B1F)

7	2日(火)～15日(月・祝) 響きあうアジア2019 「展示で巡る“日本語パートナーズ”の5年」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025	16日(火)～21日(日) 青樫選抜2019 Summer 問合せ 米谷 047-391-0136／ 090-8566-7138	24日(水)～28日(日) 第48回 くれよん展 問合せ 河津 080-5038-9293／ 03-3911-9293		
8	2日(金)～4日(日) フルーツ・ソーパークーピング作品展 ～カーピング教室HORAI・カーピング雅～ 問合せ カーピング教室HORAI 原 090-8117-4270	14日(水)～18日(日) グループ恵展 43回展 問合せ 大野 046-276-7376	21日(水)～25日(日) サロンDEポンドール会員展 問合せ 浜崎 03-5932-1518／ 090-3920-4298	27日(火)～9月1日(日) 第8回キヤノンフォトクラブ 東京DEMI写真展 問合せ 石川 090-4669-1131	
9	3日(火)～8日(日) 火洋会 問合せ 火洋会 天辻 042-421-2951	10日(火)～16日(月・祝) 幸田奈々世 写真展 「繰り返し、繰り返す」 問合せ 幸田 090-8762-0531	19日(木)～23日(月・祝) 写談撮んぼ 第14回写真展 問合せ 古谷 03-3487-3435／ 090-9019-5772	28日(土) Gallery 1・2 Atelier East・West同時開催 ボンクリ・フェス2019 問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296	29日(日)～10月2日(水) シルクロードからのものの展示 大野信幸 問合せ 大野 090-3353-9858

劇場ツアー「東京芸術劇場のトリセツ」

7月7日(日)・8月23日(金)・25日(日) コンサートホール ほか

詳細はHPへ



初めての方から楽しめる劇場ツアー

さまざまなホールを持つ東京芸術劇場の魅力を体験する、「東京芸術劇場のトリセツ」ツアーを実施いたします。ホールのエピソードのご紹介やアート広場の探索、そして普段は入ることのできない開演直前のコンサートホールも体験していただけます！劇場スタッフだけが知っている裏話や、幻のカフェのドリンク紹介など、知っているようで知らない劇場の楽しみ方をたくさん発見できるトリセツツアーにぜひご参加ください。本ツアーは、人材育成プログラムの一環である「シアター・コーディネーター養成講座＜劇場ツアー編＞」で学びを深めた受講生が劇場と社会の間に立ち、両者をつなぐために企画として考え、実施します。講座を通して劇場という空間やその歴史、特色について学んだ受講生が作成し、工夫を凝らしたガイドツアーをお楽しみください。

第1回 7月 7日(日) 10:00～11:15 第2回 8月23日(金) 16:00～17:15
第3回 8月25日(日) 10:00～11:15

【料金】各回500円(保険代込み) 【定員】各回20名
【お問合せ】東京芸術劇場 教育普及担当 03-5391-2116

演劇系大学共同制作 Vol.7 ミュージカル「ファザーファッカー」

9月6日(金)～8日(日) シアターイースト

詳細はP17へ



「うちのされとること まともと思えんばい」

世界的に広がった#MeToo運動も日本では対岸の火事の扱い。父親から娘への性暴力をめぐる裁判で無罪判決がでるなど、家庭内の性的虐待が改めて社会問題として問われるなか、ミュージカル「ファザーファッカー」が、2019年9月、東京芸術劇場シアターイーストの舞台上に登場します。「ファザーファッカー」は漫画家・小説家内田春菊が1993年に発表し、センセーションを巻き起こした自伝的小説です。今回、その義父による性的虐待というショッキングな物語を、内田春菊自ら脚本化。ペーター・ゲスナーの演出により、東京の演劇系大学のネットワーク「東京演劇大学連盟」に参加する5大学(桜美林大学、玉川大学、多摩美術大学、日本大学、桐朋学園芸術短期大学)からオーディションで選抜された現役の学生たちが、虐待に打ちひしがれながらも、たくましく生きていく少女の物語をミュージカルとして織りなしていきます。

原作・台本:内田春菊 演出:ペーター・ゲスナー(桐朋学園芸術短期大学教授) 音楽:佐東賢一
音楽監督・ピアノ演奏:高畠愛 歌唱指導:信太美奈(桐朋学園芸術短期大学特任教授) 振付:宮河愛一郎
美術:牧野紗也子 石原敬 照明:兼子慎平 衣裳:吉原顕乃
【料金】一般:2,500円／大学生:1,500円／高校生以下:500円
【お問合せ】桐朋学園芸術短期大学 090-1415-8938 endairen@toho.ac.jp

集まれ! 池袋みんなの大道芸

9月～11月 劇場前広場

詳細はHPへ



ゴールデンウィークに賑わいをみせた「集まれ! 池袋みんなの大道芸」が引き続き9月より開催。アクロバットパフォーマンス、パントマイム、マジック等、また、滅多に見られない海外からのスペシャルゲストも出演予定です! ボールやディアボロなどの技にチャレンジできる「チャレンジ広場」も同時開催。

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

芸劇+まちがく(東京芸術劇場+都市文化公開フォーラム)

9月・12月・2020年3月 アル・テアトロ(2階)



アートが持つポテンシャルを活用した街づくりのパイオニアである北川フラム氏をモデレーターに迎え、アート、文学、演劇、音楽、建築等を切り口に、各回テーマに即したゲストを招き実施しているフォーラム「芸劇+まちがく」。参加者の皆様と一緒に、これからの文化と街づくりについて考えていきます。

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

